

自然と暮らして

福岡県八女市
八女市立矢部中学校2年

轟 瑞穂

私の家には、金木犀の木がありません。毎年、秋の初め頃に甘い香りがあります。金木犀は、小さくてオレンジ色のかわいい花がたくさん咲きます。自転車でもいつも学校に行くときに、その時期だけ金木犀の優しい甘い香りが私を「いつてらっしゅい。」とおくり出してくれるような気がします。でも、金木犀の花は二週間ぐらい咲くと散ってしまいます。毎年、金木犀が散っているのを見ると「今年も終わってしまったのか。」と、少し悲しくなります。

私が住んでいる矢部村は、とても自然が豊かな村です。まわりを見渡すとたくさんの木々や透き通った川などがあります。自然が豊かなので動物もたくさんいて、さるや野うさぎ、いのししなどもいます。

私は、矢部村はとても季節を感じることが出来る場所だと思います。春には、日向神ダムの周りに植えられている千本の桜が満開に咲いてとてもきれいです。そして、夏は透き通ったとても冷たい川で泳ぐことができます。また、秋には、たくさんの木々が紅葉します。山が、赤や黄色、オレンジなど鮮やかになってとてもきれいです。矢部村は、標高が高いため、冬には雪がたくさん降って辺り一面、銀世界になることもあります。

しかし、自然が多いということは、危険な事や不便な事もたくさんあります。大雨などでは、土砂くずれが起きたり、火事が起きたら、山に燃え広がってしまったら、危険な事も多いです。

このように、自然は季節を感じることが出来るけれど、災害など怖いことも起こる可能性があります。自然災害は、いつどこで起こるかまったく分かりません。だから、日頃から災害の準備などをして、自然と向き合っていくことが私は大切だと思います。私は、自然と暮らしてみても自然と人間は協力し合って生きていけると思うので、これからは今まで以上に自然と向き合い自然を大切にしていきたいと思っています。